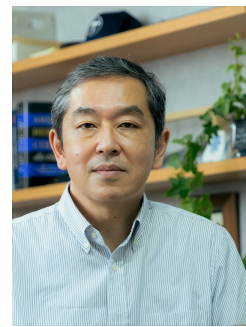


令和3年新潟県高校生理数トップセミナー

新潟大学理学部特別講演会 「ウイルスとは何か？ 生物とのつながりを理解する」



ともなが けいぞう

朝長 啓造 博士 京都大学ウイルス・再生医科学研究所教授

プロフィール：

鹿児島大学獣医学科卒業、東京大学大学院博士課程を短縮で学位取得（獣医学）、米国タフツ大学、北海道大学、大阪大学を経て現職。これまでの常識にとらわれない新しいウイルス学（ネオウイルス学）に取り組む。NHKサイエンスZEROなど多数出演。

2002年 日本ウイルス学会杉浦奨励賞、2017年 第60回野口英世記念医学賞

日時：11月14日（日）12:30～14:00
オンライン Zoom 開催

（教職員・学生の皆さんにはミーティングIDとパスコードを別途お知らせします）

パンデミック以降、メディアなどでウイルスの話題を聞かない日はありません。地球はウイルスだらけです。動物だけではなく、植物、カビ、細菌など地球上のあらゆる生命にウイルスは感染しています。最近ではウイルスに感染するウイルスも見つかっています。星の数よりも多いおよそ10兆のウイルス粒子が存在すると見積もられています。しかしながら、それらのほとんどは、私たちに病気を起こすことはありません。新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスのように、病気を起こすウイルスは、ウイルス全体から見ると氷山の一角に過ぎないのです。では、病気を起こさないウイルスたちはいったい何をしているのでしょうか。これまでの研究でわかっているのは、私たちの体には、悪い細菌を殺したり、免疫の反応を強くしたりするなど、生存に有利に働くウイルスが少なからずいるということです。また、ウイルス感染は、生命の進化にも大いに貢献してきたこともわかってきました。ウイルスは、時に私たちに攻撃しますが、生存や進化の欠かせないパートナーとして共存共生しているのです。ウイルスはなぜ病気を起こすのか？生物にとってウイルスの存在とはどのような意味があるのか？最新の話も交えながらウイルスの真の姿に迫ってみたいと思います。

理学部では、新潟県高校生理数トップセミナー（主催：新潟県教育委員会）の開催に協力しております。本年度の理数トップセミナーでは、京都大学ウイルス・再生医科学研究所の朝長 啓造 博士による特別講演会が行われます。今回、本学の教職員・学生の皆様にも特別講演会に参加できることになりましたので、奮ってご参加ください。

新潟県高校生理数トップセミナー 主催：新潟県教育委員会 協力 新潟大学理学部
R3年新潟大学理学部特別講演会 担当：井筒ゆみ 新潟大学理学部副学部長